

# 大村ロータリークラブ週報 No.24

UNITE  
FOR  
GOOD

令和8年1月27日発行（通算例会3,167回）

会長：芦塚 義幸 幹事：鶴田 幸尚

2025～2026年度 国際ロータリーテーマ

『よいことのために手を取りあおう』 RI 会長 フランチェスコ・アレッツォ

2025～2026年度 大村ロータリークラブテーマ

私が変わる！変化とチャレンジ！



## 会長の時間 1月第3例会（1月20日）

皆さん、こんにちは。本日も大村ロータリークラブ定例会にご参加いただきありがとうございます。

今日は、「大局を見据え、地域に影響を与え続ける存在と責任」というテーマでお話しさせていただきます。

さて、皆さんは最近「ドンロー主義」という言葉を耳にされたことはあるでしょうか。

これは、アメリカのトランプ氏の「ドナルド」と、かつての不干渉

外交「モンロー主義」を掛け合わせた造語です。かつてのモンロー主義は「欧州と米大陸は互いに干渉しない」というものでしたが、現代の「ドンロー主義」はさらに内向きです。「南北アメリカは支配するが、それ以外のアジアや欧州への関与は最小限にする」。つまり、「世界の警察」としてのアメリカが、私たちのいるアジアから背を向ける可能性を示唆しています。世界の大国が「自国さえ良ければいい」と内向きになる時代。果たして、私たち地域のリーダーまでもが、同じように内向きになって良いものでしょうか。

もし私たちロータリアンが、自社の利益や自分の家族のことだけを考え、「地域や日本の未来は誰かがやってくれるだろう」と無関心を決め込むならば、それはまさに「個人的なドンロー主義」に他なりません。世界情勢がどう変わろうとも、私たちの住むこの地域、社員、そして家族を守り抜く。そのためには、私たち自身が殻に閉じこもるのではなく、誰よりも大局を見据え、外の世界で起きている変化を敏感に感じ取らなければなりません。

地域のリーダーであり、経済人である私たちこそが、誰よりも先んじて大局を見つめなければならないのです。憶測や感情に流されるのではなく、自ら正しい情報を掴み、それを噛み砕く力を持つこと。その正しい情報こそが、私たちが地域や社員を正しい方向へ導くための「判断の土台」となります。これこそが、私たちに課せられた「影響を与え続ける責任」ではないでしょうか。最後になりますが、本日皆さんに一番お伝えしたいことがあります。

「地域のリーダーであり、経済人である私たちロータリアンが、誰よりも先んじて大局を見つめ、正しい情報を収集しなければなりません。そして、率先してリーダーシップを発揮し、市民を正しい方向へと導いていく。我々には、そういった重大な役目があるのではないのでしょうか。」世界が不安定に揺れ動く今だからこそ、この「重大な役目」を改めて自覚し、共に歩んでまいりましょう。それでは、本日の例会も実り多きものとなりますよう、よろしくお願いいたします。

## 雑誌の時間 雑誌・月信小委員会 小又君



年も明け、初めてこの場に立たせていただきますので、改めてご挨拶申し上げます。雑誌・月信小委員会の小又です。あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

当委員会は3人で担当させていただきますので、一人あたり年4回この時間をいただける訳ですが、早いもので3クール目がスタートいたします。早速ご紹介をさせていただきます。

まず、横組み5ページから。【日本が誇る工芸技術はいま】と題して

輪島塗工芸士たちが切り開く新たな物語として掲載されています。輪島と言いますと、私は昨年のこととと思っていたのですが、2年前の令和6年の新年早々に石川県の能登半島を震源とした地震が発生し被災された地域です。私も良く知らなかったのですが、漆工芸での工程の多さなど濃い内容が書かれております。ぜひ目を通して頂きたいと思います。

次に、横組み38ページ。石坂ガバナーの顔写真と共に、昨年10月に唐津にて行われた当地区大会の略法が掲載されております。また他の地区についても掲載されているので目を通して頂けたらとおもいます。

次に、ページが飛びますが、縦組みの2ページ【寄り添いの経営】と題して、介護シューズに関する内容です。普段の生活において、特に気にも留めなかった靴について書かれておりますのでご紹介させていただきます。

時間の都合もあり速足で参ります。縦組みの11ページ【にっぽんふうど五十三次つまみ食い】です。これは毎回紹介したかったのですが時間の都合等で割愛してきました。昨今お節離れといった単語を耳にします。先輩方のご存じかと思いますが、お節料理について書かれていたのでご紹介いたします。

最後に横組み46ページ、ROTARY お知らせのページになりますが、全国でも珍しい国際線、国内線のある玄関口としての福岡空港を拠点に新ロータリークラブ《福岡エアポート・ロータリークラブ》が誕生しました。当クラブにも何回かお越しいただいた福岡東クラブの田村志朗さんが会長を務められており、皆様も機会があれば Make Up されて見ても良いかと思えます。

後半はかなり駆け足でのご紹介でしたが、ご紹介しきれないページも含め読んでいただけたらと思います。以上を持ちまして今月の雑誌の時間といたします。

